Creative Enzymes®

ネイティブ牛α-キモトリプシノーゲンA

Cat. No. NATE-0748

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	キモトリプシノーゲンは、プロテオリティック酵素であり、消化酵素キモトリプシンの前□体（ジモゲン）です。これは、245のアミノ酸残基からなる単一のポリペプチド鎖です。膵臓の腺房細胞で合成され、腺房細胞の頂部にある膜で□まれた顆粒内に保存されます。その後、細胞はホルモン信号または神□インパルスによって刺激され、顆粒の内容物が十二指腸に通じる管に流れ出します。
用途	酵素は、近赤外線（NIR）分光法を使用して固体状態のタンパク質構造の非侵襲的な決定に利用されています。また、ポリマー/ポリマー水相二相系におけるタンパク質の分配を研究するためにも使用されています。この酵素は、自己相互作用クロマトグラフィーの□用にも使用され、タンパク質の浸透□第二ビリアル係数の迅速な測定をテストするために利用されています。この技術では、タンパク質がクロマトグラフィー粒子に固定化され、その保持が等速エリューションを使用して測定されます。
別名	9035-75-0; キモトリプシノーゲン; α-キモトリプシノーゲン A; キモトリプシノーゲン A; キモトリプシン

製品情報

種	ウシの
由来	牛膵臓
形態	基本的に塩分を含まない、凍結乾燥粉末
CAS登□番号	9035-75-0
活性	> 40 ユニット/mg 固体
機能	セリン型エンドペプチダーゼ活性
単位定義	キモトリプシンに活性化された後、1ユニットは25°CでpH 7.8の条件下で1.0 μmoleのBTEEを1分あたり加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C